



令和5年度 地域福祉懇談会 まとめ



明智地区

開催日：令和5年7月27日（木）

場所：明智振興事務所 ききょう会議室

時間：19:00～20:30

参加者：36名

地域住民22名 福祉事業所3名 福祉以外事業所0名
地域包括支援センター1名

事務局10名（社会福祉課、社会福祉協議会）

内容：令和5年4月に策定した第4次恵那市地域福祉計画・
地域福祉活動計画の進行管理として、地区計画の「今
後の取組」についてグループワークを実施し、地域課
題の解決にむけて検討する。

明智地区は地区計画①、④、⑥を検討。

検討項目

地域での見守り活動
の充実

地域の情報発信・情
報共有

多様な住民交流の推
進

具体的に取り組むこと

- ・ サロンを知らない人向けの広報活動を行う
- ・ 福祉委員、民生委員の情報交換会を増やす
- ・ 明智だよりに「福祉コーナー」をつくる
- ・ サロンの拡大、サロンを活かしたPR活動
- ・ 情報の一元化
- ・ 明智だよりで高齢者の方へ発信（アミックス）
- ・ 若い世代へはQRコードを活用した福祉情報の発信
- ・ 制度の狭間の方への支援の充実
- ・ 学校と協力した交流（夏休みの活動等）
福祉事業所にも協力を依頼する
- ・ 出張してサロンをアピールする
- ・ 近所の見守り活動
- ・ 子どもの見守りをすることで元気な高齢者づくり

上矢作地区

開催日：令和5年8月8日（火）

場所：上矢作コミュニティセンター講堂

時間：18:00～19:30

参加者：35名

地域住民22名 福祉事業所2名 福祉以外事業所1名
地域包括支援センター1名

事務局9名（社会福祉課、社会福祉協議会）

内容：令和5年4月に策定した第4次恵那市地域福祉計画・
地域福祉活動計画の進行管理として、地区計画の「今
後の取組」についてグループワークを実施し、地域課
題の解決にむけて検討する。

上矢作地区は地区計画①、③、④を検討。

検討項目

地域交流の促進による
つながりの強化

具体的に取り組むこと

- ・ ボッチャのグッズを借りれる場所の周知
- ・ 軽スポーツを借りれるところの周知
- ・ まずは地域の行事に参加する
- ・ 地域の行事に参加しやすいよう移動手段の確保
- ・ まるごと上矢作でサロンを紹介する
- ・ 地域食堂（まるごと食堂）の実施（野菜などのプレゼント付きで）
- ・ 病院の居場所（上矢作病院で売店付きのイートインスペースと誰でも気軽に來れる居場所）

検討項目

多様な高齢者支援の
実施

具体的に取り組むこと

- ・ まるごと上矢作でいきいき教室をPR
- ・ デマンドバスの時間を増やす（充実）
- ・ バス停の追加、見直し（ニーズ調査）
- ・ 上矢作町サービスマップの更新
- ・ 男性参加のサロンを増やす（夫婦でサロンに参加するなど）
- ・ 近所付き合いと結びつきの強化
- ・ 配食サービスのボランティアの募集

地域住民みんなで子どもを見守ることができる地域づくり

- ・ サロン、学童との交流会
→ 学校への働きかけ
- ・ 移住定住について、部会への協力依頼
- ・ 防犯ウォーキングの実
→ 壮健クラブへの働きかけ

三郷地区

開催日：令和5年8月8日（火）

場所：三郷コミュニティセンター大会議室

時間：18:00～19:30

参加者：37名

地域住民20名 福祉事業所6名 福祉以外事業所0名

地域包括支援センター1名

事務局10名（社会福祉課、社会福祉協議会）

内容：令和5年4月に策定した第4次恵那市地域福祉計画・地域福祉活動計画の進行管理として、地区計画の「今後の取組」についてグループワークを実施し、地域課題の解決にむけて検討する。

三郷地区は地区計画①、②、③、④、⑤を検討。

検討項目

地域の助け合いの活性化

子育て支援の推進

具体的に取り組むこと

- ・みさと愛の会の新しい仕組み → 有償ボランティアの仕組み、人材の確保
- ・定期的な地域交流の機会をつくる
- ・町の広報誌（三郷だけの福祉だより）
- ・福祉委員の検討
- ・子どもと高齢者が参加するサロンをつくる
- ・地域の自然を活用した遊び場をつくる
- ・消防団の育児休業

検討項目

若者や移住者が暮らしやすい地域づくり

地域での見守り活動等の推進

移動手段の確保

具体的に取り組むこと

- ・ 軽トラ市に若い世代（PTA、スポーツ少年団など）出店する。周知の方法も検討していく。
- ・ 無尽を活用したいろいろな世代の交流（夏祭り等季節の行事、ボッチャ、マーじゃん）
- ・ ホームページ、地域マップづくり
→三郷町のホームページを作り、地域情報を発信
→子ども達にもホームページづくりに参加してもらう
- ・ ドライバーの人材確保
- ・ 各自治体間で助け合える体制づくり

中野方地区

開催日：令和5年9月5日（火）

場所：中野方コミュニティセンター大会議室

時間：19:00～20:30

参加者：29名

地域住民18名 福祉事業所1名 福祉以外事業所0名

地域包括支援センター1名

事務局9名（社会福祉課、社会福祉協議会）

内容：令和5年4月に策定した第4次恵那市地域福祉計画・地域福祉活動計画の進行管理として、地区計画の「今後の取組」についてグループワークを実施し、地域課題の解決にむけて検討する。

中野方地区は地区計画①、②、③、⑥を検討。

検討項目

具体的に取り組むこと

住民の地域参加の促進

- ・主体的に取り組める人を集める
→マレットのような行事に車を出し、乗り物がなくても参加できるようにするなど

高齢者の生きがいづくり、見守り支援の充実

- ・多世代交流
→ボッチャ大会
- ・子どもの交流
→地域食堂（子ども食堂）

検討項目

具体的に取り組むこと

地域の交流機会の充実

- ・ふるさと資料館の昔の道具や昔の写真、自分の区の自慢のスポットの写真の展示会を行い、そこをめぐる ウォーキングをする
- ・壮健クラブや小学校とのボッチャ大会

地域福祉を担う後継者の育成

- ・移動販売の受け入れ拡大
- ・いいなか人材ネットワークの登録者を増やし、福祉に参加してもらう
→いいなか人材ネットワークの継続、充実
- ・小、中学生、親子、高齢者等をチームとしたマレット大会
- ・福祉の仕事体験の充実
→将来の担い手へ

武並地区

開催日：令和5年9月7日（木）

場所：武並コミュニティセンター集会室

時間：10:00～11:15

参加者：35名

地域住民22名 福祉事業所2名 福祉以外事業所0名

地域包括支援センター1名

事務局10名（社会福祉課、社会福祉協議会）

内容：令和5年4月に策定した第4次恵那市地域福祉計画・地域福祉活動計画の進行管理として、地区計画の「今後の取組」についてグループワークを実施し、地域課題の解決にむけて検討する。

武並地区は地区計画①、④、⑤を検討。

検討項目

地域での見守り活動等の拡充

ボランティア活動の推進

具体的に取り組むこと

- ・環境美化活動
→ポイント制、高齢者、子どもの参加
- ・自治会の福祉委員の勉強会
→民生委員との交流
- ・防災訓練への民生委員、福祉委員の参加
→支援が必要か他の情報共有
- ・防災訓練を活用した見守りの拡充
- ・通年で地域で行うラジオ体操
- ・スマートスピーカー（アレクサ）
→全市的に扱ってしい
- ・ICT（SNSの活用）
- ・町民や企業への告知、協力の依頼
- ・助成金の検討
- ・福祉に関する団体、福祉委員、民生委員、ボランティア団体、サロン団体等の交流会、研修会の実施
→いろいろな団体の交流から新しいものが生まれるかもしれない

検討項目

子どもや子育て世代への支援（乳幼児学級、行事への住民参加、学童保育など）

具体的に取り組むこと

- ・見守り隊の活動をより活発にするため広報等でPRする
- ・産後サポート
→児童委員の見守り、お祝いを持って対面をする
- ・世代を越えた交流の場
→祭り（道ブエ）を通して世代交流をする

飯地地区

開催日：令和5年9月8日（金）

場所：飯地コミュニティセンター大会議室

時間：19:00～20:30

参加者：26名

地域住民12名 福祉事業所2名 福祉以外事業所2名

地域包括支援センター1名

事務局9名（社会福祉課、社会福祉協議会）

内容：令和5年4月に策定した第4次恵那市地域福祉計画・地域福祉活動計画の進行管理として、地区計画の「今後の取組」についてグループワークを実施し、地域課題の解決にむけて検討する。

飯地地区は地区計画②、③を検討。

検討項目

見守り活動など高齢者等の生活支援

地域での支え合い・
地域活動の拡充

具体的に取り組むこと

- ・車両貸し出し、アピールを民児協でする
- ・スマートスピーカーをレクチャーできる人を用紙しておく。
- ・イベントを通じて若い人の協力を得る
- ・アレクサ活用の仕組みづくりを周知する
- ・事業所の協力を得て居場所づくりを強化する。
- ・民協を飯地商店でやろう！
- ・飯地商店のカフェスペースを誰でも気軽に寄れるようにしていく
- ・新たな会議体
- ・小さな単位でのお茶会
- ・小さなお話会（サロンの説明等）
→スタートのハードルを低くして無理をしない
- ・サロン運営に関するマニュアル作り

長島地区

開催日：令和5年9月27日（水）

場所：恵那文化センター集会室

時間：19:00～20:30

参加者：35名

地域住民23名 福祉事業所1名 福祉以外事業所0名
地域包括支援センター1名

事務局10名（社会福祉課、社会福祉協議会）

内容：令和5年4月に策定した第4次恵那市地域福祉計画・地域福祉活動計画の進行管理として、地区計画の「今後の取組」についてグループワークを実施し、地域課題の解決にむけて検討する。

長島地区は地区計画①～⑥を検討。

検討項目

子育て家庭への支援

見守り活動の促進

自治会活動の活性化

具体的に取り組むこと

- ・ 子供向け市民講座の開催
- ・ 子供向けの広報誌の発行
- ・ 自動運転スクールバス
- ・ DIG訓練の中で災害時の見守り対象者の安否確認がしやすくなるよう見守り担当者の役割分担を行う
- ・ DIG訓練参加メンバーを増やす
- ・ サロンがやりやすいよう事務を任せられる人を大募集する
- ・ 久須見で夕暮れサロンをやる！！
- ・ スマホの活用と使えない人への支援
- ・ 若者、女性の役員登用
- ・ 地域の役への対価→報酬
- ・ あえて行う世代別イベントの実施

検討項目

買い物・移動手段の充実

防災体制の強化

地域の交流活動の促進

具体的に取り組むこと

- ・ 福祉車両のPR
→長島通信を使ったPR
- ・ 市内の社会福祉法人とプロジェクトチームを立ち上げる
- ・ 防災士の活用
→防災士の地域での活躍を増やす
- ・ 子どもを主体とした三世代交流として
→地域食堂（だれでも食堂）
- ・ スポンサー（高齢者、障がい者施設、企業とのコラボレーション
→地域交流（地域と企業の地域貢献）

大井地区

開催日：令和5年9月29日（金）

場所：恵那市福祉センター

時間：18:00～19:30

参加者：37名

地域住民26名 福祉事業所0名 福祉以外事業所1名

地域包括支援センター0名

事務局10名（社会福祉課、社会福祉協議会）

内容：令和5年4月に策定した第4次恵那市地域福祉計画・地域福祉活動計画の進行管理として、地区計画の「今後の取組」についてグループワークを実施し、地域課題の解決にむけて検討する。

大井地区は地区計画①～④を検討。

検討項目

若者の地域参加の促進・歴史、自然を活かしたかちづくり

高齢者・子育て支援の充実

具体的に取り組むこと

- ・ 市民講座を増やしたり「しぶろく大井宿」と協力した取り組み
- ・ 福祉学習の継続と商工会議所と学校の連携
- ・ 使用回数の少ない集会所等を行事等に利用する
→誰もが（高齢者、パパ、ママ、子ども 外国籍の方）気軽に立ち寄れる拠点とする
- ・ 地域食堂
- ・ 多世代交流（ボッチャ大会等）

検討項目

地域のつながりの活性化・防犯、防災対策の強化

情報発信の充実

具体的に取り組むこと

- ・ 地区（自治会）で防災の話をし、話題を共有する
- ・ 「おしゃべりサロン」の活性化
- ・ 新築許可を自治会加入者のみにする
- ・ 有償ボランティアの制度をつくる
- ・ 地域活性化のための自治会加入を働きかける
- ・ 情報が行き届いていない方へ対面で情報を渡す、伝える
- ・ スマホ教室の開催
- ・ 大井町HPを広めていく

笠置地区

開催日：令和5年10月3日（火）

場所：笠置コミュニティセンター集会室

時間：14:30～16:00

参加者：26名

地域住民14名 福祉事業所3名 福祉以外事業所1名

地域包括支援センター1名

事務局7名（社会福祉課、社会福祉協議会）

内容：令和5年4月に策定した第4次恵那市地域福祉計画・地域福祉活動計画の進行管理として、地区計画の「今後の取組」についてグループワークを実施し、地域課題の解決にむけて検討する。

笠置地区は地区計画①～⑤を検討。

検討項目

若い世代の地域活動への参加

見守り活動の拡充

地域での支え合い活動の推進

具体的に取り組むこと

- ・今やっている活動に子どもたちに参加してもらう
- ・福祉委員同士の交流会があると良い
- ・エコマップをつくってはどうか
- ・隣同士の見守りを大切にしたい声かけ
- ・班ごとに茶飲み会（100円）
→班の行事復活
- ・各組織（自治会、壮健クラブ）がサロンを一緒に盛り上げる
- ・子どもの頃から認知症への理解を深める
→認知症に優しいまち笠置
- ・ボランティアで困っている方のリスト作成
- ・ボランティアのマッチングを行う

検討項目

移動手段の確保

文化活動や産業・観光振興等の取り組みを通じた地域活動の活性化

具体的に取り組むこと

- ・広報を活用し、「みかさぎ」の認知度を上げる
- ・現在の「みかさぎ」における制度の見直し
- ・学校と地域の活動委員会と社協の連携
- ・猪狩山城の語り部を子どもたちに伝える
- ・SNSを使った情報発信（スマホ教室等）

岩村地区

開催日：令和5年11月27日（月）

場所：岩村福祉センター

時間：14:00～15:30

参加者：28名

地域住民16名 福祉事業所4名 福祉以外事業所0名

地域包括支援センター1名

事務局7名（社会福祉課、社会福祉協議会）

内容：令和5年4月に策定した第4次恵那市地域福祉計画・地域福祉活動計画の進行管理として、地区計画の「今後の取組」についてグループワークを実施し、地域課題の解決にむけて検討する。

岩村地区は地区計画①～④を検討。

検討項目

高齢者の生きがいづくりや生活支援の充実

移住者を含めた交流づくり

具体的に取り組むこと

- ・ 高齢者と子どもの交流会の実施
→ 地域食堂、サロンでの交流など
- ・ サロンへの男性参加の充実
→ 男性に先生としてサロンに来てもらう
- ・ 春から秋までのイベント時に1つのブースで交流会を行う
- ・ 皆で一緒になって交流を深める「意識づけ」
- ・ キッズスペースでの多世代交流
- ・ 子育て世代と高齢者世代が自由に地域とのつながりを持つこと
- ・ 今あるイベントに乗っかって行う
→ コラボする

検討項目

地域ぐるみの子ども
や子育て世代への
支援

ボランティア活動の
活性化

具体的に取り組むこと

- ・福祉センターを交流の場にする
- ・イベントを通じて情報交流ができるように
- ・地域の自然を活用し、次の世代へ伝承する
- ・地域住民の力を活用
→高齢者の生きがいや、ボランティアにつながる

- ・参加しやすい「ちょこっとボランティア」の整備
- ・外部の学生を巻き込んだ地方創生イベント

山岡地区

開催日：令和5年12月5日（火）

場所：山岡振興事務所 会議室

時間：15:00～16:30

参加者：34名

地域住民26名 福祉事業所0名 福祉以外事業所0名
地域包括支援センター1名

事務局7名（社会福祉課、社会福祉協議会）

内容：令和5年4月に策定した第4次恵那市地域福祉計画・
地域福祉活動計画の進行管理として、地区計画の「今
後の取組」についてグループワークを実施し、地域課
題の解決にむけて検討する。

山岡地区は地区計画①～⑤を検討。

検討項目

あらゆる人に対する
見守りや生きがい活
動等の拡充

買い物や通院など交
通弱者への配慮

具体的に取り組むこと

- ・ さとやま食堂のよびかけ拡充
子供会、区の役員、サロン、民生委員、
壮健クラブ
- ・ サロン活動の充実
- ・ 民生委員、壮健クラブの活動の継続

- ・ よやくる号の移動方法等内容の拡充、より
使いやすいサービスにする
- ・ 自宅まで送迎をお願いできる手段
→仮称「山タク」
デマンドバスよりも自由に依頼でき、NPO
に送迎の運転手を配置する

検討項目

住民自治の意識の醸
成

地域のつながりや連
携の強化

若者や子育て世代へ
の支援

具体的に取り組むこと

- ・ 振興事務所、社協、NPOが近くに集まっ
ていることはメリット
- ・ 山岡の情報「さとやま」「支部だより」に
高齢者コーナーを作成する。
→「情報発信」が住民自治の意識の醸成

- ・ 壮健クラブ、サロン、こども園、小学生と
コラボした行事の実施
- ・ 各地区でさとやま食堂を行う

- ・ 単発の行事を合同開催し、誰でも参加しや
すくする
- ・ さとやま食堂の充実

串原地区

開催日：令和5年12月8日（金）

場所：串原福祉センター

時間：19:00～20:30

参加者：21名

地域住民14名 福祉事業所0名 福祉以外事業所1名

地域包括支援センター1名

事務局5名（社会福祉課、社会福祉協議会）

内容：令和5年4月に策定した第4次恵那市地域福祉計画・地域福祉活動計画の進行管理として、地区計画の「今後の取組」についてグループワークを実施し、地域課題の解決にむけて検討する。

串原地区は地区計画①～④を検討。

検討項目

高齢者の生きがいづくり・生活支援

移動・買い物支援の拡充

具体的に取り組むこと

- ・少人数で行うサロンの実施
- ・来てみたくなるサロン（少しでも興味を持ってもらう）
→大工経験者に物を作る、直してもらうなどいろいろな方に先生になってもらう

- ・くしバスを使いやすくする
→当日予約を可能に、路線を増やすなど
- ・バローなど事業者と協力して買い物ツアーを企画する
- ・移動販売の商品充実

検討項目

伝統文化の保存活動を通じた地域活動への参加促進

地域のつながり、助け合いの強化

具体的に取り組むこと

- ・ SNSで情報発信し、串原の伝統文化を知ってもらう
→ 皆が「知り」「楽しむ」ことにより皆で交流することで「地域共生社会」となる
三世代交流や地域への愛着がもてる
- ・ 送迎者の活用、車いすの貸し出し
- ・ 駐在所のお巡りさんの福祉行事への参加
- ・ 文化の継承を福祉教育に取り入れる

東野地区

開催日：令和5年12月19日（火）

場所：東野コミュニティーセンター大会議室

時間：19:00～20:30

参加者：25名

地域住民16名 福祉事業所3名 福祉以外事業所0名

地域包括支援センター1名

事務局5名（社会福祉課、社会福祉協議会）

内容：令和5年4月に策定した第4次恵那市地域福祉計画・地域福祉活動計画の進行管理として、地区計画の「今後の取組」についてグループワークを実施し、地域課題の解決にむけて検討する。

東野地区は地区計画①、③、⑤を検討。

検討項目

高齢者への生活支援
や見守り

若者や子育て家庭の
定住促進

具体的に取り組むこと

- ・福祉協力員と民生委員の交流会（情報共有）
- ・ケアマネジャーと民生委員との情報共有会
- ・認知症サポーター養成講座、介護者交流会の活用
- ・支える人（人材）と支えられる人がどれだけいるのか把握すること
- ・本当に支援が届いてほしい人に行き届くツールが必要

- ・空き家利用の移住者へ補助金を出す
- ・子育て世代に対して東野独自の支援金を出す
→子育てに魅力ある地域を！
- ・東野の良さを広く知ってもらう
→具体的なところはこれからみんな考えていく

検討項目

多様な交流機会の設
置

具体的に取り組むこと

- ・サロンに來れない人を車で迎えに行く
→足がない人でも参加できる仕組みづくり
→どんなサロンだったら参加してみたいか
ニーズ調査をする
- ・子どもの行事に多世代が参加できる仕組み